

未来ビジョン会議 事前質問一覧（意見も含む）

| 頁 | 項目 | 意見・質問 | 回答 |
|-------|--------------------------------|--|---|
| 9 | 10年間の自然動態 | 【意見】説明文の4行目「2013年度には年間500人を割り」となっているが、2011年度に500人を割っているのに、表現として問題ないか？ | |
| 15 | 安全安心なまちづくり | 【意見】②③は利便性の向上とっているので「安全安心」とはニュアンスが違い違和感がある。 | |
| 16 | キャッチフレーズ長すぎる | 【意見】長すぎるキャッチフレーズは伝わりにくいので、今の思いを伝え、凝縮させると、「ひと・自然・業」未来へ続くKOSAI で良いのではないか。 | |
| 16 | Road to KOSAI 2040 キャッチフレーズ | 【質問】こちらのキャッチフレーズは決定されているのでしょうか。もしまだ、再考の余地があるのであれば、「ひと・自然・業・文化」がつながり未来へ続く わがまち KOSAI」と、「文化」という文字を入れることはできないでしょうか。理由についてはこの後の意見の中にも出てきますが、湖西の文化の醸成と活用が今後様々な分野で必要になってくると考えられるからです。 | キャッチフレーズについては、市民25名からなる市民ワーキンググループにより、湖西市の将来像をキャッチフレーズとしているため、記載の内容で決定と考えております。 |
| 17・71 | 全体を通して、観光交流、湖西の文化の醸成と活用について | 【意見】今回の総合計画の中に、今ある文化や文化財、自然の景観、自然環境をどう交流に生かすかが示されていないことを危惧します。住んでよし、訪れてよしのまちづくりをしていくためにも、湖西市で生きていく力をつけていくためにも、湖西市の成り立ち歴史や文化の流れを市民が理解し、自ら発信して行かれるようになるということはとても大切なことです。湖西の工業や農業、水産業等の産業もまた湖西の歴史や文化の上に成り立っていると言えると思います。昨今市民が市の歴史や文化について学ぶ海鳴学園事業の廃止や、各年代において湖西の文化や歴史を学ぶ機会、文化や文化財を生かすことを考える機会が湖西市においては薄くなっていると思います。市民が湖西市ならではのものに、関心をもち学ぶ力、生かす力を育てていくような方針と施策がなければ、元々持っている市の恵まれた環境に目を向けることができなくなってしまいます。また歴史や文化を垣間見ることができると誇れる貴重な史跡を残していくことが難しくなると考えます。観光交流の観点においても、市役所が発信する情報に更に市民や様々な民間団体が湖西市の魅力を発信したり湖西市の観光振興につながる活動ができていく方が、大きく市内外にアピールできるのではないかと考えます。観光客を呼べるような文化や歴史、景観が湖西市にはあります。それらの丁寧な発掘と人を呼べるような事業や受け入れの態勢づくりが求められると考えます。 | |
| 21 | 将来土地利用図の説明 | 【質問】観光交流拠点に新居関所周辺の関所や駅から南側のエリアが示されていませんが、ここは貴重な文化財や歴史や文化が偲ばれる景観が残り、文化を伝える施設もあることから重要な観光交流拠点と考えられます。また近年これらのエリアの価値に対する評価が市内外から訪れる来訪者より上がってきております。このエリアも観光交流拠点にすることを提案します。 | 都市計画マスタープランでは、土地利用における観光交流拠点の位置づけはありませんが、新居地区において基本方針として歴史的街並み景観の形成を位置づけています。 「新居関所周辺」エリアを追加します。 |
| 24 | 働くまちから働いて暮らすまちへ「職住近接」 | 【意見】単なるベッドタウン化しないための「職住近接」は重要です。その一方で、コロナ対策の一環として、首都圏・中京圏などの都市圏企業に向けてテレワーク勤務を呼びかけることによる居住人口増につながる施策や活動も必要だと思います。 | |
| 28-29 | SDGsの推進 | 【意見】SDGsのアイコンだけでは、目的内容を記載した文字が小さいため、事業目的がわかりにくいです。表内に目的内容を記載した文字欄を追加することで更にわかりやすくなると思います。 | |

未来ビジョン会議 事前質問一覧（意見も含む）

| 頁 | 項目 | 意見・質問 | 回答 |
|-----------|--------------------------------|--|---|
| 32 -33 | 防災 施策の成果指標 KPI-防災訓練の実施 | <p>【意見】「市民が災害への備えができていると感じる割合」について、「十分できている」の割合を増やしていく必要があると思います。そのため「施設整備」「避難所運営連絡会の開催等の必要な支援」「啓発活動」と掲げられた施策に繋げていく必要があると思います。</p> <p>【質問】平成29年度の県平均訓練参加率は33.6%となっていますが、湖西市の実績が23.1%で目標KPIが25.0%となっています。この結果に対する見解および対応策について教えてください。</p> | <p>静岡県が算出した参加率と、湖西市の参加率の算出方法が異なります。なお静岡県の算出方法で計算すると46.1%となります。（3月の実施分は除く）※最終頁参照</p> <p>KPIでは、年3回実施する防災訓練の1回あたりの参加率の平均を用いています。</p> <p>引き続き、自主防災会と連携して、訓練参加率を高め、防災意識の向上を図っていきたいと考えます。</p> |
| 35 | KPI | <p>【意見】防犯パトロール強化で、目標をパトロール回数にしているが、犯罪発生件数を減らすようにした方が良いのではないかと？</p> | |
| 36 -37 | 消防・救急 | <p>【質問】「消防団員の確保」について具体的な促進事業について教えてください。</p> <p>【意見】施策の成果指標の「出動件数の減」につながるような施策も今後必要になると思います。</p> | <p>市内のイベントにて、団員募集の街頭広報 消防団広報誌へ団員募集を掲載 市内の企業への協力依頼 消防団協力事業所制度 学生消防団活動認証制度 消防団応援の店制度 準中型免許取得助成制度</p> |
| 38 -39 | 地域医療 市立湖西病院の強化 | <p>【質問】定住人口が増加するため医療の充実が必要と考える。市の財政負担も大きいことから市立湖西病院の経営改善が急務。湖西病院改革プランはいつまでに策定されるのか？</p> | <p>改革プランは総務省のガイドラインに沿って策定しております。本来は今年度中に新しい改革プランが策定される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、国から次の改定ガイドラインが示されないため、現状では、策定は未定となっております。</p> |
| 38 -39 | 地域医療 今後の展開 | <p>【質問】新型コロナ対応策として、専門部署の設置状況等について教えてください。</p> | <p>専門部署は設置しておりませんが、対策会議にて市内全体での連携を図っており、詳細事業については各担当部署で対応しております。</p> |
| 41 | KPI 生活習慣病の予防 | <p>健康診査受診率を上げるだけでなく、悪い状態の人数を把握して減らす目標にできないか。</p> | |
| 48 -49 | 公共交通 今後の展開 | <p>【質問】BaaS実証実験の現時点での状況について教えてください。</p> | <p>予約システム登録者数 118人 利用者数 234人</p> |
| 51 | 0~14歳の人口 2040年3月末 7,100人 | <p>【質問】0~14歳の人口を2040年3月末に7,100人とする目標であるが、かなり高い目標と考えるが実現可能でしょうか？もう少し低位の目標の方が良いのではないかと？</p> | <p>目標値のため、高めには設定してありますが、この目標に向けて頑張っ てまいりたいと考えております。</p> |

未来ビジョン会議 事前質問一覧（意見も含む）

| 頁 | 項目 | 意見・質問 | 回答 |
|-----------|----------------|---|--|
| 52 | 結婚・出産・子育て | <p>現状と課題の中で、子育ての悩みや不安を抱えている親の支援が必要とされているとありますが、子育ては産前産後だけではなく、成長過程においても様々な悩みがありますし、介護や仕事との両立など悩みの範囲も広いと考えます。子育てがしやすいまち、介護との両立、仕事との両立ができるまちであるかどうかは、女性が暮らしたい暮らすところを選びたいと思った時に判断する基準になると思います。</p> <p>また女性の働く力は産業振興や貴重な労働力、地域を支える力になっていくと思います。課は跨ぐと思いますが、子育て支援課のみでなく、産業振興課、長寿介護課、市民課それぞれに女性の相談窓口を設けられるのも一つの方法かと思います。</p> <p>21のKPIが3歳児以下の相談でいいのかどうか、もう少し例えば中学卒業くらいまで何かしらの相談窓口で相談できる相談先を知っているか、その対応の満足度等で図ることはできませんか。</p> | <p>委員おっしゃられるとおり、「子育て」はずっと続くものであると承知しております。しかしながら、ここでの「子育て」については、多くの母親が子育てで戸惑うであろう乳幼児時期にスポットをあてているため、KPIについても記載の内容のKPIを設定いたしました。</p> <p>就学児の相談については、子育てのほか、学業、不登校他、様々な支援を要する子どもたちに対しては、個に応じた支援が必要となり、学校教育の分野と連携することが重要だと考えております。</p> |
| 53 | 基本事業とKPI | <p>【質問】例えば長泉町など「結婚・出産・子育て」に先進的な市町の基本事業と比べてどのように評価していますか。またKPIを達成した時にどのような効果を見込んでいますか。</p> | <p>長泉町の合計特殊出生率は、平成25年度算定で全国平均を大きく上回る1.85人となっております。人口減少が叫ばれる中、人口が増加している数少ない市町のひとつです。大きな要因としては、子育て支援や教育分野に力を入れていることが挙げられており、参考とするところは多くあると感じております。</p> <p>本市としては、昼夜間人口差や生産年齢人口における男女比など、本市の独自性を踏まえ、住もっか「こさい」定住促進奨励金やわ〜くわく「こさい」で新生活！奨学金返還支援補助金など、独自性のある施策を打ち出しながら効果を出していきたいと考えております。KPIについては、ここに示した重点事業ではなく、「結婚・出産・子育てに」関するほかの事業であったり住環境など、各施策が連携しあった結果、子育てがしやすい町、子育てするなら湖西市として、人口減少に歯止めをかけることができるのではないかと考えております。</p> |
| 54 -55 | 学校教育 KPI 今後の展開 | <p>【意見】ICT教育の推進が方針としてあるので「ICT教育の進捗状況」など、何らかのKPIを追加したほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>【質問】「学校の授業が分かると答える児童生徒の割合」を増やすために必要な政策として、教員の雑務による多忙を解消し、授業準備や生徒対応に充てる時間を増やし質の高い対応を実現するため、業務補助員の採用・活用などに対するお考えを伺います。</p> <p>【要望】教育委員会等へ説明をさせていただきました「ジュニア防災士」育成事業についてのご協力をお願いします。</p> | <p>教員の雑務による多忙を解消するために印刷、消毒などの学校の雑務を行う「スクールサポートスタッフ」が県採用の職員として各校に配置されているため、市としては「特別支援教育支援員」で児童生徒の支援をすすめていきたいと考えております。</p> |
| 58 -59 | 共生社会 今後の展開 | <p>【意見】P8 湖西市の10年間の社会動態を見ても、確実に外国人の比率が高まっています。このような方々に対して「防災」に対する理解の促進も必要になると思います。</p> <p>自治会・地域・学校などにおける多種、迅速、正確な情報提供に当たっては、静岡県多文化共生センターの活用をしてほしいと思います。</p> | |

未来ビジョン会議 事前質問一覧（意見も含む）

| 頁 | 項目 | 意見・質問 | 回答 |
|-----------|------------------------|---|---|
| 59 | KPI 日本語教育の充実 | 【質問】日本語教室講座数が少なすぎる感じがするが、受講者数からみて適当か。 | 講座の目標値については、今後の実績を含め検討いたしますが、一講座あたりの募集人数については、十分な人数を確保しているため、6講座としました。 大人については、国や県主催の講座が市内で開催されておりますが、子ども対象となると、鷲津地区で実施しているため通えない子どもがいることなどは承知しております。今後は、市が開催する日本語教室として対象者や開催場所、講座内容など、現状では受講できない方が受講できるための開催方法を精査しながら、2講座増としていくことを目標と致しました。 |
| 65 | 今後の展開 基本事業 | 【意見】「就業支援」に加えて、現役勤労者への支援の観点も必要ではないかと考えます。（例：スキルアップセミナー等の実施、スマートシティ等のセミナー、テレワーク施設の提供等） | |
| 67 | 基本事業とKPI | 【質問】「賑わい創出」として、「空き家の有効活用」とありますが、2019年度の3件の事例は、どのような活用内容だったのでしょうか？ | 商工会と取組んでいる事業承継対策の中で、廃業者等と新規開業者等のマッチングに至ったものです。 ・古民家→カフェ ・空き店舗→喫茶店 ・空き店舗→サイクリストの宿泊施設 |
| 72 -73 | 18 住環境 18-42 畜産臭気対策 | 【意見】ハウスメーカーからも意見がでていますが、畜産臭気対策を強化する必要がある。行政指導を行い、補助金制度を充実させ、利用促進させた方が良い。 | |
| 76 -77 | 観光振興 | 【質問】新居関所周辺の環境整備工事が完了したところですが、NPOなどとの連携により周辺設備の高度利用や観光体験の質を高める事業についての取り組みについてどのようなものがあるか伺います。 【意見】サイクリングは静岡県がオリンピックの自転車競技開催地であること、太平洋海岸自転車道がナショナルサイクルルートに認定されること、コロナ禍で密を避けられるスポーツです。また、浜名湖周遊道路及び太平洋岸自転車道を活用したサイクリングの取り組みが行える環境整備が進んでいます。 湖西市を中心として、近隣市や各団体とも協力し、浜名湖一周だけでなく、県域を越えての（豊橋・田原）サイクリスト交流事業は新たな観光施策になり得ると思います。 | 観光協会や観光地域づくり法人との連携により、新居関所周辺でのまち歩き満足度向上や着地型旅行商品の造成による体験観光の充実のための事業や、郷土愛の醸成を図るために市民への観光資源の認知度・理解度向上を図る出前講座等の事業が想定されます。 歴史的街並みの保全・形成及び付加価値の向上を図るため、「新居町景観計画」のルールに基づいて建築物や工作物の景観誘導や補助金の交付を行っています。 |
| 78 -79 | 移住定住促進 KPI | 【意見】新しい生活様式が普及するとコロナ禍による首都圏一極集中が緩和され、今までとは違った要望をお持ちの方々の移住・定住希望者が増えると考えられるので、このような方々への情報発信など、新たな施策も求められると思います。 | |
| 79 | 今後の展開 基本事業 | 【意見】市外の現役勤労者をターゲットとしたアプローチがあってもよいと考えます。また、移住に重点を置いたアプローチを設定し、実際に住んでもらいよさを体感してもらって定住に繋げていくことも必要かと考えます。（例：市内賃貸物件の紹介、市外から市内への引っ越し代の補助、移住者への期間限定の家賃補助、移住者への市内商業施設のクーポン券配付等） | |
| 82 -83 | 22 デジタル スマートシティの実現 | 【質問】市の業務改革を行い、効率化により人員の余力を生み出し戦略的人員配置を行うべきである。 DX推進計画はいつまでに、どのように作成していくのか？ | 計画策定については、令和3年度9月を目処としております。現在は、策定方法を検討しながら、まずは推進方針を精査しております。 |

未来ビジョン会議 事前質問一覧（意見も含む）

| 頁 | 項目 | 意見・質問 | 回答 |
|---|------------------------|--|---|
| | 全体を通して 市民協働によるまちづくり | <p>全体の中で前回の総合計画には大きく盛り込まれていた、「市民協働によるまちづくり」という項目が盛り込まれていません。</p> <p>人口や税収の減少とともに、市役所の職員の人数や予算も減っていきま</p> <p>す。</p> <p>これまで行われていた住民サービスができなくなっていく部分に対してどうそれを補完してくのか考えた時に、市役所がすべて行い、市民も市役所に全てお任せするのではなく、市役所、企業、学校、NPO等が枠を超えて協働して取り組んでいくことが必要不可欠になると考えます。</p> <p>住民自らが自分たちの生活や環境を考えて、身近に起きている課題に気づいて、それに対する自主的な取り組みを行ったり、市を暮らしやすい地域になるように関わっていく人を増やしていくには、市民協働によるまちづくりという項目は欠かせないと考えます。</p> <p>静岡県内の市町においても、市民協働を推進するセクションを強化して事業等取り組み始めているところがある一方で、湖西市においては中間支援をするセクションが消滅しています。</p> <p>市民のやる気を応援する、継続できるよう育てていく施策が必要であり、それがまちを活気づけていくと考えるため。安心・安全・医療、福祉の戦略の中に「市民協働によるまちづくり」を入れることを提案します。</p> | <p>人口や税収の減少という状況下、現総合計画では「市民協働によるまちづくり」に重点をおいております。市役所、企業、学校、NPO等が枠を超えて協働して取り組んでいくという意識が醸成されたと考えております。第6次総合計画では、「市民協働」について、「事業」としてというより「理念」として承知しており、安心・安全・医療・福祉のみならず各分野で基本となる考えだと理解しております。</p> |

【参考】静岡県H29平均訓練参加率（県危機対策課・石綿氏確認）

$$1,256,403人 / 3,743,015人 = 0.33566 \dots \approx 33.6\% \quad (9 \cdot 12 \cdot 3 \text{月訓練等のべ参加者} / \text{H30.1.1時点住基に基づく県民人口})$$

湖西市実績

$$27,674人 / 120,000人 = 0.23061 \dots \approx 23.1\% \quad (9 \cdot 12 \text{月訓練のべ参加者} / \text{湖西市人口約} 60,000 \times 2 \text{回}) \quad (\text{下線箇所が、算出における差異})$$

【統一方法による試算】

・対象訓練を9月・12月とする。⇒静岡県のべ参加者を、 $2/3$ （9・12・3月のうち、3月を除くイメージ）とし、 $1,256,403 \times 2/3 \approx 837,602$ 人とする。

・分母を、人口 $\times 2$ に統一する。⇒静岡県の分母を、 $3,743,015 \times 2 = 7,486,030$ 人

$$\text{県平均：} 837,602 / 7,486,030 = 0.11188 \dots \approx 11.2\% \quad \text{湖西市：} 27,674 / 120,000 = 0.23061 \dots \approx 23.1\%$$